実験テーマ　 1 　　 Webページ作成

　実　験　日　時

令和　　年　　　月　　　日　　　時　　分 ～ 　　時　　分

令和　　年　　　月　　　日　　　時　　分 ～ 　　時　　分

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実験室

　レポート締切日　　令和　　　年　　　　月　　　　日（　　　）

　レポート提出日　　令和　　　年　　　　月　　　　日（　　　）

　提　　出　　者　　電気情報工学科　　　　年　　　　番　　　　班

　　　　氏　名

共 同 実 験 者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １回目 | ２回目 | ３回目 |
|  |  |  |
| ※ この欄には記入しないこと | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| チェックシート（Webページ作成） | | | | | |
|  |  |  |  | |  |
| 内容 | チェック項目 | | 学生 | 教員 | |
| 表紙 | 記入項目が全て誤りなく記載されている | |  |  | |
| レポート  全体の体裁 | 全体にわたって適切な章構成で報告書が作成されている | |  |  | |
| 主語と述語の不一致等，日本語として不明確な記述が無い | |  |  | |
| 体言止めや口語的表現等，技術文書として不適切な表現が無い | |  |  | |
| 不明確な図や表が無い | |  |  | |
| 本文中に句読点のミスや誤字脱字等の誤表記等が無い | |  |  | |
| まとまりのある複数の文の間に無意味な改行が無い（本文の改行は基本的に段落間のみ） | |  |  | |
| 段落の構成が適切である（段落は2文以上から成り，1つの段落は1つの主張を含む） | |  |  | |
| 段落の最初は一字下げが成されている | |  |  | |
| 本文のインデント（本文左側の字下げ余白）がバラバラになっておらず，一定のルールに従っている | |  |  | |
| 図番号と図題は図の下部，表番号と表題は表の上部に記載されている | |  |  | |
| 図表の左右の余白に本文が回り込んでいない | |  |  | |
| 本文中での登場順に図番号や表番号が付されている | |  |  | |
| 全ての図表が本文中に1度以上登場している（本文で引用されている） | |  |  | |
| 本文が突然中央寄せされている，途中から行間が広くなっている等のフォーマット崩れが無い | |  |  | |
| 全てのページの中央下部にページ番号が記載されている | |  |  | |
| 本文中の数式のフォント（斜体と立体，太字と細字，フォントの種類）が統一されている | |  |  | |
| 見出しはゴシック，本文は明朝体等，フォントが一定のルールに基づいて統一されている | |  |  | |
| 複数の種類の句読点（，と、や．と。）の混在等がなく，文書全体として統一されている | |  |  | |
| 英数字は全て半角文字を用いている | |  |  | |
| 全ての図表にはユニークな題がつけられている（同じ図題・表題の図表が複数存在しない） | |  |  | |
| 表紙とチェックシート以外に手書きの個所が無く電子的に作成されている | |  |  | |
| 考察において書籍やweb等を参考にした場合は，書誌情報が適切に引用されている | |  |  | |
| 結果と  解説 | URLの仕組みとDNSによる名前解決について，2章で図を用いて解説している | |  |  | |
| 実験結果として示すべき図表が全て3章（総合演習に取り組んだ場合は3章と4章）に示されている | |  |  | |
| 全ての実験結果に対して，必要なHTML・CSSの内容やwebページの画面キャプチャが示されている（但しテキストに記載されているHTML・CSSは省略してよい） | |  |  | |
| 全ての実験結果に対して，その実験の目的に則した内容の解説が十分記述されている | |  |  | |
| 実験結果の解説等の本文が論理的かつ明確に示されている | |  |  | |
| 考察 | Webページの解説文や他人のレポートをコピーしておらず，自らの文章で記述されている | |  |  | |
| (1) | レスポンシブデザインの意味について，誰が読んでも分かるように図を用いて解説している |  |  | |
| (2) | カテゴリとコンテンツモデルの概念が解説されており，誤った使い方の例が示されている |  |  | |
| (3) | リセットCSSの使われ方や役割が正しく解説されている |  |  | |
| 提出遅延状況管理の為，下記の日付記載欄の内，現状で書ける日付の欄を記載した上で提出すること．  提出締切日（1回目）： 年 月 日 実際に提出した日（1回目）： 年 月 日 返却日（1回目）： 年 月 日  提出締切日（2回目）： 年 月 日 実際に提出した日（2回目）： 年 月 日 返却日（2回目）： 年 月 日  提出締切日（3回目）： 年 月 日 実際に提出した日（3回目）： 年 月 日 返却日（3回目）： 年 月 日  また，チェックシートに不備が付くレポート（未完成レポート）の提出は認めない．明らかにチェックシートを活用していないと思われるチェックの仕方をしていた場合は減点する（例えば「全てのページの中央下部にページ番号が記載されている」に丸が付いているにもかかわらずページ番号がない等）．何のためにチェックシートがあるのかをよく考え，必ずこのシートを確認しながらレポートを作成すること． | | | | | |
|
|
|
|
|

あああああ